



2019年11月5日
JR東日本 仙台支社

会津地域での実証実験について

「モビリティ変革コンソーシアム」※ Smart City WGのサブワーキンググループ（幹事団体：日本電気株式会社）が、会津地域で実証実験を行います。

※「モビリティ変革コンソーシアム」

JR東日本単独では解決が難しい社会課題や、次代の公共交通について、交通事業者と各種の国内外企業、大学・研究機関などがつながりを創出し、オープンイノベーションによりモビリティ変革を実現する場として設立されました。

●モビリティ変革コンソーシアムHP：<https://www.jreast.co.jp/jremic/>



1. 目的

会津地域を訪れる観光客に ICT を活用して情報提供を行い、地域公共交通の利用による回遊を促進することならびに地域内消費の拡大を目指します。

なお、この実証実験の結果は、本年3月に福島県と会津若松市、JR東日本の3者で締結した「会津若松駅前広場の整備等を起点とした会津地域の観光振興等に関する包括連携協定」の主な連携の取り組みである安全でシームレスな交通ネットワークの構築の検討（MaaSなどの検討）に活かしてまいります。

2. 実証内容

以下について検証いたします。

- ・地域公共交通による回遊促進に資する「サービスアプリ」のあり方
（サービスアプリとアンケートを用いた効果測定の実施）
- ・地域公共交通の「利便性向上」に向けた施策検討に資する「サービスアプリ」の利用者データやオープンデータの利活用のあり方
（サービス実装方法）

■実証イメージ



3. サービスアプリ概要

(1) サービスアプリ内容

- ・ 複数交通手段横断の乗換案内
- ・ 観光スポット等情報の提供
- ・ 最寄りの観光案内所ならびにトイレマップの提供
- ・ ユーザの予定、属性、嗜好に応じたスケジューラーならびにおすすめ周遊ルートのレコメンド機能

(2) 提供形式

- ・ スマートフォンアプリ（Androidのみ）

(3) サービスアプリで取得可能なデータ

- ・ GPS データ
- ・ 経路検索履歴
- ・ 各画面の表示回数
- ・ 観光スポット等滞留時間
- ・ 平均閲覧時間（ページ毎の閲覧時間）
- ・ 利用者登録情報
- ・ アプリ起動時間 など

■ サービスアプリ画面（イメージ）



○利用者情報登録画面



○スケジューラー画面



○観光スポット等情報画面

4. 実証対象

- ・ 観光目的で会津地域を訪れ、地域公共交通を利用する日本人 : 90名※
- ・ 観光目的で会津地域を訪れ、自動車（自家用車、レンタカー）を利用する日本人 : 100名
（サービスアプリは使用しない）

※90名の内訳

サービスアプリを使用する方	: 60名
（レコメンド機能を利用する方 30名、レコメンド機能は利用しない方 30名）	
サービスアプリを使用しない方 (GPS データを取得し行動履歴を推定)	: 30名

なお、実証対象の皆さまからはサービスアプリなどからのデータ取得につきまして、予めご了承頂くこととしております。

5. 実証期間（予定）

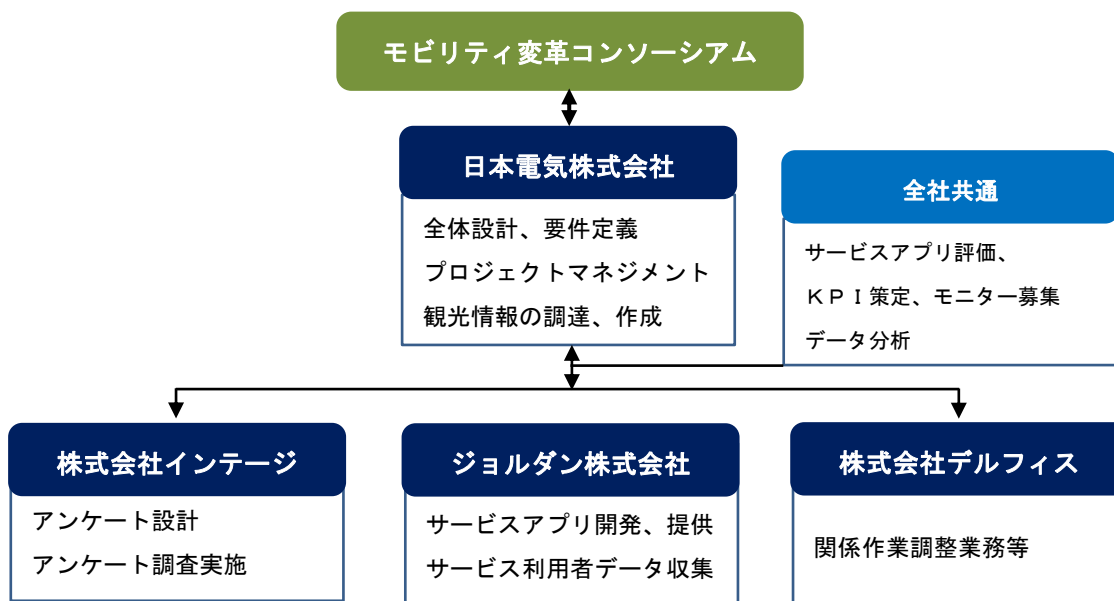
2019年11月5日（火）～11月30日（土）

6. 実施場所

会津地域11市町村*

※会津若松市、喜多方市、下郷町、南会津町、北塩原村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、会津美里町

7. 参加団体



■参加団体概要

社名	事業内容
日本電気株式会社 https://jpn.nec.com/	パブリック事業、エンタープライズ事業、ネットワークサービス事業、システムプラットフォーム事業およびグローバル事業
株式会社インテージ https://www.intage.co.jp/	マーケティング・リサーチ、データ解析、デジタルマーケティングなどにより、生活者と顧客企業をつなぎ、マーケティング活動を支援
ジョルダン株式会社 https://www.jorudan.co.jp/	鉄道等の経路検索・運賃計算ソフトウェア「乗換案内」の製造・販売、ホームページ及びモバイルでの「乗換案内」及び付随サービスの提供、旅行の取扱、その他インターネット向けコンテンツの提供、及び受託ソフトウェア開発